

日本 POPs (残留性有機汚染物質)ネットワーク規則

1. 名称

本ネットワークの名称は、「日本 POPs(残留性有機汚染物質)ネットワーク」
略称：日本 POPs ネット、英語名：Japan POPs Network とする。

2. 目的

本ネットワークは、POPs に関する情報のネットワークと研究者や行政担当者、企業担当者、市民団体等、所属や地域、国などの異なる関係者のネットワークを構築し、これらを共有することで、POPs 対策のための研究、リスクアセスメント、リスクコミュニケーション、リスクマネジメント等を促進することを目的とする。

3. 対象物質

以下のような、環境中での残留性が高い、生物に濃縮しやすい、環境中を長距離移動しやすいといった性質を持ち、人や生態系に有害な影響を与えるおそれの高い有機汚染物質(POPs)を対象とする。

- (1) 条約の指定物質（当初は、アルドリン、クロルデン、ディルドリン、エンドリン、DDT、ヘプタクロル、HCB、マイレックス、トキサフェン、PCB、PCDDs、PCDFs）
- (2) 条約の指定候補物質（PCP、PAHs など）
- (3) その他 POPs の性質を持つ化学物質

4. 活動内容

- (1) 情報ネットワークの構築：POPs についての情報の集積と国内外への発信・共有
（基礎知識、関係条約・法令、行政担当部署、構造・物性、毒性、用途、発生源、測定・分析方法、環境汚染調査データ、リスク評価事例、処理技術、代替技術・代替物質、行政・学会・企業関係ニュース、関係団体リンク集などの情報を共有できるインターネット Web サイトの構築等）
- (2) 人的ネットワークの構築：POPs に関する人の交流、協力の促進
（研究者、行政担当者、関係団体担当者、企業担当者等）
- (3) 日本の「POPs 対策実施計画」等の POPs 政策に対する提言
- (4) その他、本ネットワークの目的達成に必要な事項

5. ネットワーク構成員

本ネットワークは、POPs に係わる学識経験者、行政担当者、及びエコケミストリー研究会の会員で、本ネットワークの目的に賛同する個人または団体によって構成する。

6. ネットワーク構成員の役割と特典

本ネットワークの構成員は、POPs に関する情報を得た場合には、事務局に連絡して情報提供を行い、ネットワークの充実に協力する。

また、ネットワーク構成員は、エコケミストリー研究会が主催、共催する行事への割引参加及び出版物等の割引購入ができる。また、メーリングリストによる POPs 関連情報の提供を受けることができる。

7. 運営

本ネットワークの運営は、構成員の中の希望者または推薦された者による「ネットワーク構成員幹事会」によって運営する。

8. 事務局

本ネットワークの事務局は、下記のエコケミストリー研究会内に置く。
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5
横浜国立大学総合研究棟 環境安全工学研究室内
TEL/FAX: 045-336-4036、E-mail : ecochemi@ynu.ac.jp